

これからアジャイル開発を始めるのに 困っている人たちの討論成果

2016年3月9日 JaSST'2016 @ 日本大学

Keep

Try

Problem

P

テスト計画でのテストケース
(南米版)と異なるのが難しい
→ 11月-4 期間等
区別している

メンバーの負荷が
高い。

どうやって
自分達の品質を
測るのか?

どの時点で
どのような品質を
狙うのか。

部門間連携が
最適化されて
いない。
QAと開発

11月-22日(水)まで
□□□□
11月場合は
Doneの後に
に入れている。

テストの粒度を
共有する。

テスト
品質に
影響

対象と決める
↓
テストケース
を作る

クラス	品質特性	
API	機能	品質
UI		

単体
結合
システム
テスト

毎週 sprint
↑
進捗

リアル
ワークフロー
↑
テスト
計画

毎日決めた
時間
に
レビュー

システムテストで
バグを取り除く
のか?

バグが出る
→
各ステップで
体系的にテスト
をしている

K

Keep

朝会
P2の10,17の
おでこでして
取り-の Mes
かひきりおこなう

Try

Try
早期ファーストリング

Try

リストの自動化

Bug Fixをやる
ためのスクリプト
おいてよい

Try
ファーストリングの
設計を考えた
自実践する。

P

実装者とQA
の干渉を減らす
組織にしたい

初期導入したいが
成功のため最低でも
おさえるポイントはあるか?

try:
仕様書の省略は
可能か?

Problem
テストケースの抽出

Problem

PJのスケジュール
21/12/20
3:30 PM

朝会を取り込む。
他部門. 設計は課題
主導はどの部門にする
か?

K

チケット管理
ツール

やることを
明確にしたい

朝会を
行うようにする。

T

テスト計画

QAを巻き込む

スクリプト

スクリプトのルールを
理解してもらう。

P

・ルールを
理解してもらう
・チケット
の向きを
上向きにする。

・オーバーシフト
に対して
対応する人が
少ない

人が少ない

テスト業務を外部委託している場合に
了り代はどの程度か？

社内ルールを徹底したい。

品質部門に対して
開発側にも知らせる
ように
(とお願いする)

自動テスト

ウォーターフォール
開発

他人に押しつけた
品質管理

アジャイルの理解を
勉強会

開発プロセスに
ついて勉強会

レビューの実施
(設計・テスト)

Keep
最終日程を
強引に合わせる。

7Dレビューの
実施

TRY

トヨタ
KISS-解決整理

アジャイルを標榜
しているので
キヤッブ

レビューの分類を
しない

Problem
OPM (外部開発) での
課題・問題が見えない

品質のバラつき

チームによって
やり方がバラバラ
(ウォーターフォール風?)

Problem
事業体の組織の壁
が両方 共有不可

keep できていること

keep

ファイルの形態を
廃止している

Try したいこと

keep

定期的なコミット
4-週間
(毎朝朝会実施)

Try

品質向上を
進めたい

Try
.x1返す

Try

・IL-IL 作り

problem ~~問題~~
問題

QAチームが途中から
つくられたため、
アサインチームに中絶
できない。

Problem

技術的なことは
できていないところか
ある

Problem

・ゴールのイメージが
メンバー間で異なる

Problem

品質に対する
作業があまり
できていない

Keep

Keep

見直し: 定期的な
改善活動。

計画的な反復開発
は行っている

スクリプト化している
チームはある

Try

Try

アジャイル化は
試している

Problem

Agileを短絡的に
とらえている人がいる

Problem

アジャイルでの
開発をいかにサポート

フィードバックの体制
は不十分

Problem

アジャイルの
本質を理解している
人が少ない

アジャイルを

ステップガイドにする

理解している人
が少ない

主流からはずれた
プロジェクトで
成功事例を分析する。

失敗の経験も必要。

ユーザーファーストの
プロセスか
決めている。

頭のカタイ上司

成功事例を出す

他社の成功事例を
参考にする。

ハードウェアの
力が強い。

Retrospective.

進捗確認
容易に存在
Sprint (as PO)

4-4とPOの
Jニニケヤン

悪い事に気が付く
どう止めるか??

P

権限をPOに
27-11-11
何を依頼する?
POに何を任せか!

2"という機能で
2"の機能は区別
できか。(77価10145)

SPの信頼性向上

段階化77-スル
ことあるの? 3347L
の422通出できる
はなやか?

T

・スクリプトのPO
・事前テストとリテ

Keep

アジャイル開発の
QAとして評価実施

Try

開発活動に入れてゆく。

Try

QA支援を
したい。

Problem

教育の効果が
測れている。

Problem

アジャイルに対応した
QA活動が出来ていない。

P

上はアジャイルに対応
してほしいがワークロード

Problem

アジャイルならではの
工夫等していない。

P

設計部門が
遅い。

P

設計に口出せる
知識がない。

T

スクラム70%程度
は実施している

チームとして
QCの力を借り
意気がある

P

テスト代行も目的

QAにテスト
依頼が増える

設計チームとの
距離感

T

ステルス

上流工程の介入

コミュニケーションの
改善

仕様作成段階
からQAも入る

存在価値の
向上

Problem

ソフトウェアが壊る/遅い
UIの微調整はできる
(開発部門)

外部開発
(海外)

国内企業

Try

途中の何回か
1042 OA 1253
テスト

Problem

103000